

消費生活ほっと通信



ペン君

テーマ 「SDGsを知ろう！」

- ・SDGsってなに？
- ・わたしたち消費者ができることは？



フクロウ博士

最近、テレビや新聞で「SDGs（エスディーゼズ）」ということばをよく耳にしますが、みなさんにご存じですか？ 今回は「SDGs」について解説し、消費生活の中でわたしができることを考えます。



SDGsってなに？

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年9月に国連の「持続可能な開発サミット」で採択された、2030年までの国際目標のことだよ。



SDGsには**気候変動**、**貧困**、**飢餓問題**など世界が取り組むべき17の目標と169の具体的なターゲットがあって、**世界中の人が協力して取り組むためのもの**になっているんだよ（下図参照）。

国や自治体、企業だけでなく、わたしたち一人ひとりの行動が社会を変える力になるんだ。



SDGsは「誰一人取り残さない」世界を目指しているよ。途上国のみならず先進国なども協力して取り組むことが大事なんだ！



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

わたしたち消費者ができることは？

SDGsの目標の達成のために、わたしたちの暮らしのなかでくふうできることはなんだろう？



日常生活のなかに取り組める目標のひとつに、**目標【12】の「つくる責任 つかう責任」**があるよ。これは、持続可能な生産と消費を構築するための目標のことだよ。より多くの、より良質のものを得られるように生産や消費ができる形態を目指しているんだ。

12 つくる責任
つかう責任



例えば、いま世界では、食品の約3分の1が廃棄物として捨てられているよ。資源を効率的に利用したり、食品の廃棄量を減らしたり、廃棄物を削減・再利用・再生利用するなど取り組むことが大切なんだ。難しく聞こえるかもしれないけれど、身近ではこんな取り組みがあるよ。

例えば、

- 食品を買うときは食べられる分だけ購入して、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食べ物）を減らす。
- リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源にもどして再利用する）に取り組んでごみを減らす。
- 買い物をするとき人や社会、環境に配慮した商品やサービスを選ぶ。できることは身近にあるんだよ！



14 海の豊かさを
守ろう



次に、SDGsの目標【14】「海の豊かさを守ろう」をみてみよう。海洋・海洋資源の生態系を持続可能なかたちで保全し、海洋汚染を防止し、海洋資源を持続的に利用することを目標としているんだよ。いま、世界では、プラスチックごみや工場等からの排水による海洋汚染や魚介類の乱獲等が問題になっているよ。消費者ができることはなんだろう？

- マイバッグやマイボトルを使う。
- プラスチック製品のスプーンやフォークの代わりにマイ箸を使う。
- シャンプーなど詰め替え用ボトルなどくりかえり使えるものを選ぶ。
- 屋外で出たごみは家に持ち帰って処分する。
- 海洋環境などに配慮した水産物（詳しくは次号）を選ぶ。

毎日の消費行動が地球環境に影響を与えているんだね。できることから始めてみよう！



！困ったときは、消費生活センターに相談しましょう！

豊島区在住・在勤・在学の方の商品の購入や契約のトラブルなど、消費生活に関する相談は豊島区消費生活センターで受け付けています。

【相談専用電話】 03-3984-5515

（午前9時30分から午後4時 土・日・祝日・年末年始を除く）



発行・問い合わせ先：豊島区消費生活センター TEL：03-4566-2416